

歯科診療補助論

Dental assisting program

2単位 (必修) 2年(後期), 3年(前期)

尾崎和美(授業責任者)・教授/口腔保健学科 口腔保健支援学講座, 中道敦子・講師/口腔保健学科 口腔保健支援学講座

藤原奈津美・助教/口腔保健学科 口腔保健支援学講座, 竹内祐子・助教/口腔保健学科 口腔保健福祉学講座

【授業目的】 歯科診療補助を行う上で必要な知識を修得することを目的とする。

【授業概要】 歯科医師が診療を行なう際、正確で迅速な作業ができる補助者として、また患者に対しての直接対面行為を行う術者として歯科衛生士は、多岐にわたる歯科診療の内容に精通しておく必要がある。歯科診療補助論では、診療機器や歯科材料の取扱方法および共同動作等の背景・理論を理解した上で、これらの知識を駆使して診療補助あるいは診療を行うための技法を学習する。

【授業形式】 講義

【授業方法】 講義形式 スライド, プリントを適宜用いる。

【授業場所】 (2年次後期) 第6講義室, (3年次前期) 第5講義室

【授業テーマ】 [授業テーマ]

【キーワード】 [キーワード]

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【履修上の注意】 当該科目の授業においては15回の講義の予習あるいは復習に努めること。具体的には、①次回の講義内容のレジュメを配布した場合は、その中の空白部分に適する語句を、教科書・参考書等を調べて予め埋めておくこと。②予めレジュメを配布しない場合は、「授業計画」中の「内容」に記している語句について、教科書・参考書等を用いて調べた上、1枚程度の予習レポートを作成しておくこと。③講義中に小テストを行った場合は、教員による解説の内容をまとめるなどしつつ復習し、1枚程度の復習レポートを作成しておくこと。④上記の②および③については、その提出を求めることがある。また、提出されたレポートの内容が成績評価に反映される場合がある。⑤試験は全講義数の2/3以上の出席を満たしている者に対して行う。

【到達目標】

1. 歯科診療補助の業務について概説できる。
2. 消毒・滅菌法を理解し、各種診療用器材の処理方法について説明できる。
3. 使用目的に応じた衛生材料について説明できる。
4. 診療設備の構造および機能について説明できる。
5. 共同動作の意義を理解し、各種動作について説明できる。
6. 一般診療用器材、材料の種類、用途について説明できる。
7. 患者および医療スタッフとの円滑なコミュニケーションを理解できる。

8. 患者指導に必要な情報の収集ならびに結果の意味について理解できる。

9. 治療別の処置内容を理解し、必要に応じた診療用器材の準備と適切な取り扱い方、管理および補助について説明できる。

10. 歯科診療補助において想定される事故への対応を説明できる。

11. エックス線撮影にあたり、撮影の意味とその危険性、適切な防護を説明できる。

【授業計画】

| | 大項目 | 中項目 | 内容 | 到達目標 | 担当 |
|-----|-----|----------------------|--------------------------|------------|----|
| 1. | 総論 | 歯科診療補助の概要, 医療安全と感染予防 | オリエンテーション, 手指衛生 | 1-4 | 尾崎 |
| 2. | 〃 | 診療設備, 環境整備 | 診療設備, 環境整備, 院内感染対策, 衛生材料 | 〃 | 藤原 |
| 3. | 各論 | 共同動作 | 共同動作, 口腔内防湿 | 5-7,9,10 | 〃 |
| 4. | 〃 | 基本的な器械, 材料の取り扱い | 印象材 他 | 5-10 | 〃 |
| 5. | 〃 | 資料収集 | 印象採得, 咬合採得 | 〃 | 〃 |
| 6. | 〃 | 基本的な器械, 材料の取り扱い | 石膏, 回転切削器具 | 6,8,9 | 尾崎 |
| 7. | 〃 | 資料収集 | X線写真撮影補助 | 5-11 | 〃 |
| 8. | 〃 | 〃 | 口腔内写真撮影 | 5-10 | 〃 |
| 9. | 〃 | 患者との対応 | 保健指導の目的・意義, 説明資料の作成 | 7,8 | 藤原 |
| 10. | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 11. | 〃 | 〃 | 保健指導の実際 | 〃 | 〃 |
| 12. | 〃 | 前処置 | 前処置, ラバーダム防湿 | 3,5-7,9,10 | 尾崎 |
| 13. | 〃 | 患者との対応 | 変色・着色およびその対処法 | 5-10 | 〃 |
| 14. | 〃 | 〃 | 審美歯科治療, ホワイトニングにおける診療補助 | 5-7,9,10 | 藤原 |
| 15. | 〃 | 歯科矯正治療 | 歯科矯正治療時の診療補助 | 〃 | 尾崎 |
| 16. | 〃 | 歯科予防処置 | 前処置, ラバーダム防湿 | 3,5-7,9,10 | 〃 |
| 17. | 〃 | 〃 | 予防填塞処置 | 5-7,9,10 | 〃 |

| | | | | | |
|-----|---|--------|----------------------|------------|----|
| 18. | ” | 成形修復 | 成形修復時の診療補助 1 | ” | ” |
| 19. | ” | ” | 成形修復時の診療補助 2 | ” | ” |
| 20. | ” | 鋳造修復 | 鋳造修復時の診療補助 1 | ” | ” |
| 21. | ” | ” | 鋳造修復時の診療補助 2 | ” | ” |
| 22. | ” | 歯内治療 | 歯内治療時の診療補助 | ” | ” |
| 23. | ” | 補綴治療 | 補綴治療時の診療補助 1 | ” | 藤原 |
| 24. | ” | ” | 補綴治療時の診療補助 2 | ” | ” |
| 25. | ” | 口腔外科治療 | 口腔外科治療時の診療補助 1 | ” | ” |
| 26. | ” | ” | 口腔外科治療時の診療補助 2 | ” | ” |
| 27. | ” | 看護技術 | 採血 | 3,7-10 | 竹内 |
| 28. | ” | ” | 気管内吸引 | 3,7,9,10 | ” |
| 29. | ” | 口腔外科治療 | 病棟口腔ケア, 口腔内吸引 | 3,5-7,9,10 | 中道 |
| 30. | ” | 訪問歯科診療 | 訪問歯科診療の流れ, 歯科診療補助の概要 | 5-7,9,10 | ” |

【成績評価】筆記試験を2年次後期終了後と3年次前期終了後の2回行い、両者を総合して評価する。評価は100点満点で60点以上を合格とする。

【再試験】必要に応じて行う。

【教科書】最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第1版, 全国歯科衛生士教育協議会編, 医歯薬出版, 2007

【参考書】

- ◇ 下記に示す参考書など, できるだけ多くの関連書ならびに雑誌を参考にするとよい。
- ◇ 新歯科衛生士教本 歯科臨床概論 第2版, 医歯薬出版, 2002
- ◇ 新歯科衛生士教本 歯科診療補助 歯科器械の知識と取扱い, 第1版, 医歯薬出版, 1996
- ◇ 新歯科衛生士教本 歯科診療補助 歯科材料の知識と取扱い 第1版, 医歯薬出版, 1999
- ◇ 新歯科衛生士教本 歯科診療補助 受付対応・事務 第1版, 医歯薬出版, 1994
- ◇ 器材準備マニュアル, 第3版, 全国歯科衛生士教育協議会編, (財)口腔保健協会, 2006

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217325>

【連絡先】

- ⇒ 尾崎和美(ozaki@dent.tokushima-u.ac.jp/5F口腔保健学科・教授室/633-9309) (オフィスアワー: 月水金18:00~ 19:00)
- ⇒ 中道敦子(dh-nakamichi-0702@dent.tokushima-u.ac.jp/5F口腔保健学科・第3研究室/633-7898) (オフィスアワー: 月~ 金17:00~ 18:00)
- ⇒ 藤原奈津美 (nfujiwara@dent.tokushima-u.ac.jp/5F口腔保健学科・第3研究室/633-7898) (オフィスアワー: 月水金17:00~ 18:00)
- ⇒ 竹内祐子(yu-take@dent.tokushima-u.ac.jp/6F口腔保健学科・第5研究室/633-9171) (オフィスアワー: 月~ 金17:00~ 18:00)

【備考】

- ◇ 1~ 15 回:2年次後期:水曜 1 時限目
- ◇ 16~ 30 回:3年次前期:金曜 1 時限目

Dental assisting program

2 units (compulsory) 2nd-year(2nd semester), 3rd-year(1st semester)

Kazumi Ozaki(Manager)・PROFESSOR / ORAL HEALTH CARE PROMOTION, SCHOOL OF ORAL HEALTH AND WELFARE, Atsuko Nakamichi・ASSOCIATE PROFESSOR / ORAL HEALTH CARE PROMOTION, SCHOOL OF ORAL HEALTH AND WELFARE

Natsumi Fujiwara・ASSISTANT PROFESSOR / ORAL HEALTH CARE PROMOTION, SCHOOL OF ORAL HEALTH AND WELFARE, Yuko Takeuchi・ASSISTANT PROFESSOR / ORAL HEALTH SCIENCE AND SOCIAL WELFARE, SCHOOL OF ORAL HEALTH AND WELFARE

Target) 歯科診療補助を行う上で必要な知識を修得することを目的とする。

Outline) 歯科医師が診療を行なう際、正確で迅速な作業ができる補助者として、また患者に対しての直接対面行為を行う術者として歯科衛生士は、多岐にわたる歯科診療の内容に精通しておく必要がある。歯科診療補助論では、診療機器や歯科材料の取扱方法および共同動作等の背景・理論を理解した上で、これらの知識を駆使して診療補助あるいは診療を行うための技法を学習する。

Style) Lecture

Manner) 講義形式 スライド、プリントを適宜用いる。

Location) (2年次後期)第6講義室、(3年次前期)第5講義室

Theme) [授業テーマ]

Keyword) [キーワード]

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Notice) 当該科目の授業においては15回の講義の予習あるいは復習に努めること。具体的には、①次回の講義内容のレジュメを配布した場合は、その中の空白部分に適する語句を、教科書・参考書等を調べて予め埋めておくこと。②予めレジュメを配布しない場合は、「授業計画」中の「内容」に記している語句について、教科書・参考書等を用いて調べた上、1枚程度の予習レポートを作成しておくこと。③講義中に小テストを行った場合は、教員による解説の内容をまとめるなどしつつ復習し、1枚程度の復習レポートを作成しておくこと。④上記の②および③については、その提出を求めることがある。また、提出されたレポートの内容が成績評価に反映される場合がある。⑤試験は全講義数の2/3以上の出席を満たしている者に対して行う。

Goal)

1. 歯科診療補助の業務について概説できる。
2. 消毒・滅菌法を理解し、各種診療用器材の処理方法について説明できる。
3. 使用目的に応じた衛生材料について説明できる。
4. 診療設備の構造および機能について説明できる。
5. 共同動作の意義を理解し、各種動作について説明できる。
6. 一般診療用器材、材料の種類、用途について説明できる。
7. 患者および医療スタッフとの円滑なコミュニケーションを理解できる。

8. 患者指導に必要な情報の収集ならびに結果の意味について理解できる。

9. 治療別の処置内容を理解し、必要に応じた診療用器材の準備と適切な取り扱い方、管理および補助について説明できる。

10. 歯科診療補助において想定される事故への対応を説明できる。

11. エックス線撮影にあたり、撮影の意味とその危険性、適切な防護を説明できる。

Schedule)

| | 大項目 | 中項目 | 内容 | 到達目標 | 担当 |
|-----|-----|---------------------|------------------------|------------|----|
| 1. | 総論 | 歯科診療補助の概要、医療安全と感染予防 | オリエンテーション、手指衛生 | 1-4 | 尾崎 |
| 2. | 〃 | 診療設備、環境整備 | 診療設備、環境整備、院内感染対策、衛生材料 | 〃 | 藤原 |
| 3. | 各論 | 共同動作 | 共同動作、口腔内防湿 | 5-7,9,10 | 〃 |
| 4. | 〃 | 基本的な器械、材料の取り扱い | 印象材 他 | 5-10 | 〃 |
| 5. | 〃 | 資料収集 | 印象採得、咬合採得 | 〃 | 〃 |
| 6. | 〃 | 基本的な器械、材料の取り扱い | 石膏、回転切削器具 | 6,8,9 | 尾崎 |
| 7. | 〃 | 資料収集 | X線写真撮影補助 | 5-11 | 〃 |
| 8. | 〃 | 〃 | 口腔内写真撮影 | 5-10 | 〃 |
| 9. | 〃 | 患者との対応 | 保健指導の目的・意義、説明資料の作成 | 7,8 | 藤原 |
| 10. | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 11. | 〃 | 〃 | 保健指導の実際 | 〃 | 〃 |
| 12. | 〃 | 前処置 | 前処置、ラバーダム防湿 | 3,5-7,9,10 | 尾崎 |
| 13. | 〃 | 患者との対応 | 変色・着色およびその対処法 | 5-10 | 〃 |
| 14. | 〃 | 〃 | 審美歯科治療、ホワイトニングにおける診療補助 | 5-7,9,10 | 藤原 |
| 15. | 〃 | 歯科矯正治療 | 歯科矯正治療時の診療補助 | 〃 | 尾崎 |
| 16. | 〃 | 歯科予防処置 | 前処置、ラバーダム防湿 | 3,5-7,9,10 | 〃 |
| 17. | 〃 | 〃 | 予防填塞処置 | 5-7,9,10 | 〃 |

| | | | | | |
|-----|---|--------|----------------------|------------|----|
| 18. | ” | 成形修復 | 成形修復時の診療補助 1 | ” | ” |
| 19. | ” | ” | 成形修復時の診療補助 2 | ” | ” |
| 20. | ” | 鑄造修復 | 鑄造修復時の診療補助 1 | ” | ” |
| 21. | ” | ” | 鑄造修復時の診療補助 2 | ” | ” |
| 22. | ” | 歯内治療 | 歯内治療時の診療補助 | ” | ” |
| 23. | ” | 補綴治療 | 補綴治療時の診療補助 1 | ” | 藤原 |
| 24. | ” | ” | 補綴治療時の診療補助 2 | ” | ” |
| 25. | ” | 口腔外科治療 | 口腔外科治療時の診療補助 1 | ” | ” |
| 26. | ” | ” | 口腔外科治療時の診療補助 2 | ” | ” |
| 27. | ” | 看護技術 | 採血 | 3,7-10 | 竹内 |
| 28. | ” | ” | 気管内吸引 | 3,7,9,10 | ” |
| 29. | ” | 口腔外科治療 | 病棟口腔ケア, 口腔内吸引 | 3,5-7,9,10 | 中道 |
| 30. | ” | 訪問歯科診療 | 訪問歯科診療の流れ, 歯科診療補助の概要 | 5-7,9,10 | ” |

Evaluation Criteria) 筆記試験を2年次後期終了後と3年次前期終了後の2回行い、両者を総合して評価する。評価は100点満点で60点以上を合格とする。

Re-evaluation) 必要に応じて行う。

Textbook) 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第1版, 全国歯科衛生士教育協議会編, 医歯薬出版, 2007

Reference)

- ◇ 下記に示す参考書など、できるだけ多くの関連書ならびに雑誌を参考にするとよい。
- ◇ 新歯科衛生士教本 歯科臨床概論 第2版, 医歯薬出版, 2002
- ◇ 新歯科衛生士教本 歯科診療補助 歯科器械の知識と取扱い, 第1版, 医歯薬出版, 1996
- ◇ 新歯科衛生士教本 歯科診療補助 歯科材料の知識と取扱い 第1版, 医歯薬出版, 1999
- ◇ 新歯科衛生士教本 歯科診療補助 受付対応・事務 第1版, 医歯薬出版, 1994
- ◇ 器材準備マニュアル, 第3版, 全国歯科衛生士教育協議会編, (財)口腔保健協会, 2006

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217325>

Contact)

⇒ 尾崎和美(ozaki@dent.tokushima-u.ac.jp/5F口腔保健学科・教授室/633-9309) (Office Hour: 月水金18:00~ 19:00)

⇒ 中道敦子(dh-nakamichi-0702@dent.tokushima-u.ac.jp/5F口腔保健学科・第3研究室/633-7898) (Office Hour: 月~ 金17:00~ 18:00)

⇒ 藤原奈津美 (nfujiwara@dent.tokushima-u.ac.jp/5F口腔保健学科・第3研究室/633-7898) (Office Hour: 月水金17:00~ 18:00)

⇒ 竹内祐子(yu-take@dent.tokushima-u.ac.jp/6F口腔保健学科・第5研究室/633-9171) (Office Hour: 月~ 金17:00~ 18:00)

Note)

- ◇ 1~ 15 回:2年次後期:水曜 1 時限目
- ◇ 16~ 30 回:3年次前期:金曜 1 時限目